

『すすんで関わり、深く学ぼうとする生徒の育成』

＜重点目標＞

工夫した授業で生徒を変える

「共有」・「共育」・「運動」を基盤とした教育活動の実践

＜学校経営方針＞

- ・「わかる」・「いえる」・「かかわりあう」授業の実践
- ・「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成
- ・「かかわり」を大切にできる生徒の育成

＜具体的実践内容＞

○学びの環境を整え、「わかる」・「いえる」・「かかわりあう」授業の展開を目指す

- ・学習規律の定着を基盤とした「習得」・「活用」・「深化」を意識した授業を展開する。
- ・「学力向上チーム会」と「教科会」の運動から「共有」・「分析」・「解決」の定着を図る。
- ・全教員による道徳指導体制を構築し、評価の研究や実践を行う。
- ・きめ細かな指導を目指した少人数・T T 授業の積極的な展開を図る。
- ・新1年生に対する新学習指導要領の確実に履行する。
- ・朝や放課後の時間を活用した学習活動を推進する。

○「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成を目指す

- ・「考える道徳」の定着を目指し、道徳授業を通して、道徳的判断力や認め合う意識を育成する。
- ・人権に関する学習活動の再構築を図り、生徒の実態に応じた展開を図る。
- ・生徒会主体の活動をしっかりと支える。
- ・法令遵守の態度の定着に向けた指導を継続的に展開する。

○「かかわり」を大切にできる生徒の育成を目指す。

- ・コミュニケーション活動等を通して他者にやさしく関われる態度を育んでいく取組を展開する。
- ・「困り」のある生徒への支援やその方法の協議をすすめる。
- ・「省エネ」を意識し、環境にやさしい取組を実践していく。
- ・子どもたち「学び」と「育ち」の姿を明確にしていく小中連携をすすめる。
- ・地域の活動への積極的な参加をすすめる。